

【目的・背景】

都内では、既存住宅の流通戸数が新築住宅を上回ってきたが、既存住宅の売買の際には、建物状況調査や瑕疵保険の検査基準への適合状況、リノベーションの際の住宅履歴情報の登録、建物評価に関する消費者への「安心できる住宅の基本性能情報」が不十分であり、改善する必要がある。

2024年4月より開始される新築住宅の省エネルギー性能表示制度に先駆けて、省エネリノベーションとして、「性能情報」表示をする取組みを始めている。

現状、省エネリノベーションのコストと性能の整理、性能説明などの改善すべき課題は多い。そのため都内販売物件に対して本格的に実証実験をすすめ、省エネ向上を標準とする商品開発につなげるとともに、説明ツール、広告等表示、HPでお客様へのわかりやすい解説などに重点的に取り組むこととした。

【取組内容・期待される効果】

販売モデルの類型化※を行い、省エネ性能向上の効果、コスト・販売価格、売れ行き、お客様の評価・住まい方などの実証実験を行い、商品開発に活用する※省エネモデルの類型化（既存マンション買取再販対象住戸）

- （１）お客様の関心が高い、「省エネルギー性能」の見える化**
- （２）お客様のメリットの発信**
- （３）省エネルギー性能向上の見える化**
- （４）コスト・効果の整理**
- （５）当社商品開発に活用**

「省エネ性能値での住まいの比較検討できるマーケット」に向けて、安心で快適な既存住宅流通の訴求に期待